



父の借金、
私が身体で返します



シン君の家
久しぶり

入って



俺の彼女...

ビッ

お邪魔します！

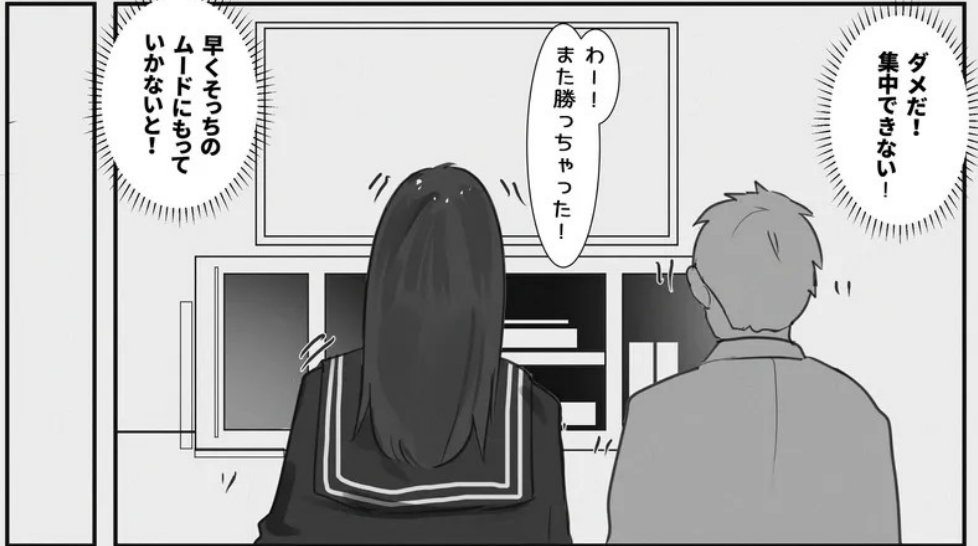
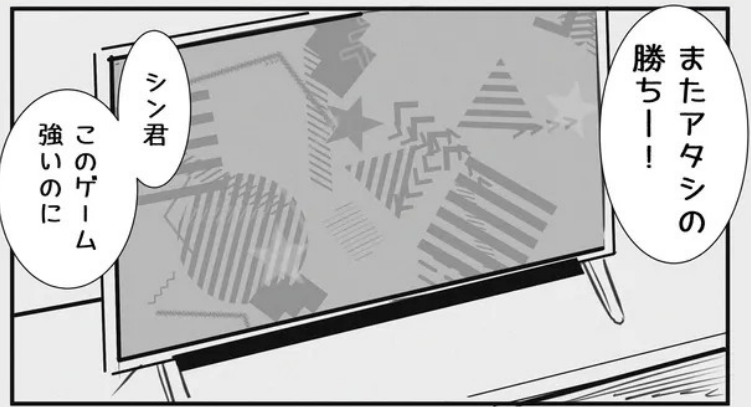
高校に入ると
同時に付き合い
始めた

岸優菜
中学の時こっちに
引っ越してきて...

今日俺は...
優菜と...

大人の階段を
あがる...!!
(つもり)





優菜ちゃん今帰ったよ

今から駅へ迎えに行くね!

今日も一緒にお風呂入ろうね♡
たくさん可愛がってあげるよ

平塚……?
誰だ……?

何だこれ……!?
男……?



ありえない

あ
優菜!

じゃあ
またね!

まさか……いや
優菜がそんな……



大丈夫!

今日は一人で
帰るよ!

あ……

いや……



結局優菜に
何も聞けなかった

メッセージで
問い詰めてみる？

でももし
別れたら
言われたら…



平塚って
いったい誰なんだよ



優菜ちゃん！



お待たせ
優菜ちゃん



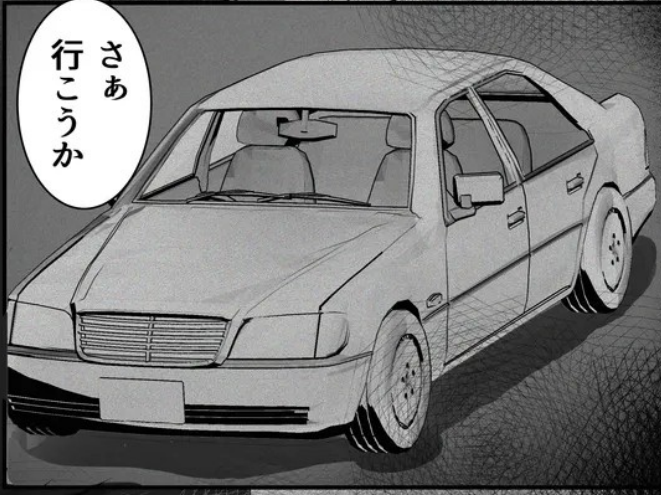
車止めるところ
手間取っちゃって

今日もたくさん



.....

可愛がって
やるからな



さあ
行こうか



嫌なことが
起きるんじや
ないかと

不安になる



いつも
そうだった

幸せなことが
起きると



シン君に告白
された時も…

幸せだったけど
怖かった

程なくして…



パパが友人の借金の
保証人になっていて

その取り立ての
ために



予感は
当たった…



優菜!

!

パパ

お客さん?

この男が私の
目の前に現れた



娘…

あの時私の事を
ずっと見ていて…



パパが!?
そんな!

お金払って
もらわないとね

こっちもまあ
裁判とかも



そうならば
パパの会社や
君の学校にも
迷惑かけちゃう
事になるし

そんな…

ママも知らない
みたいだよ

そんな…

ただ…



どなたですか…

部屋に戻ってなさい!

君が頑張るといふなら
パパの件…譲歩して
あげてもいいよ

私も鬼じゃないし
パパを助けない

だから君の頑張りを
見せてくれたら

家族を救えるかも
しれない

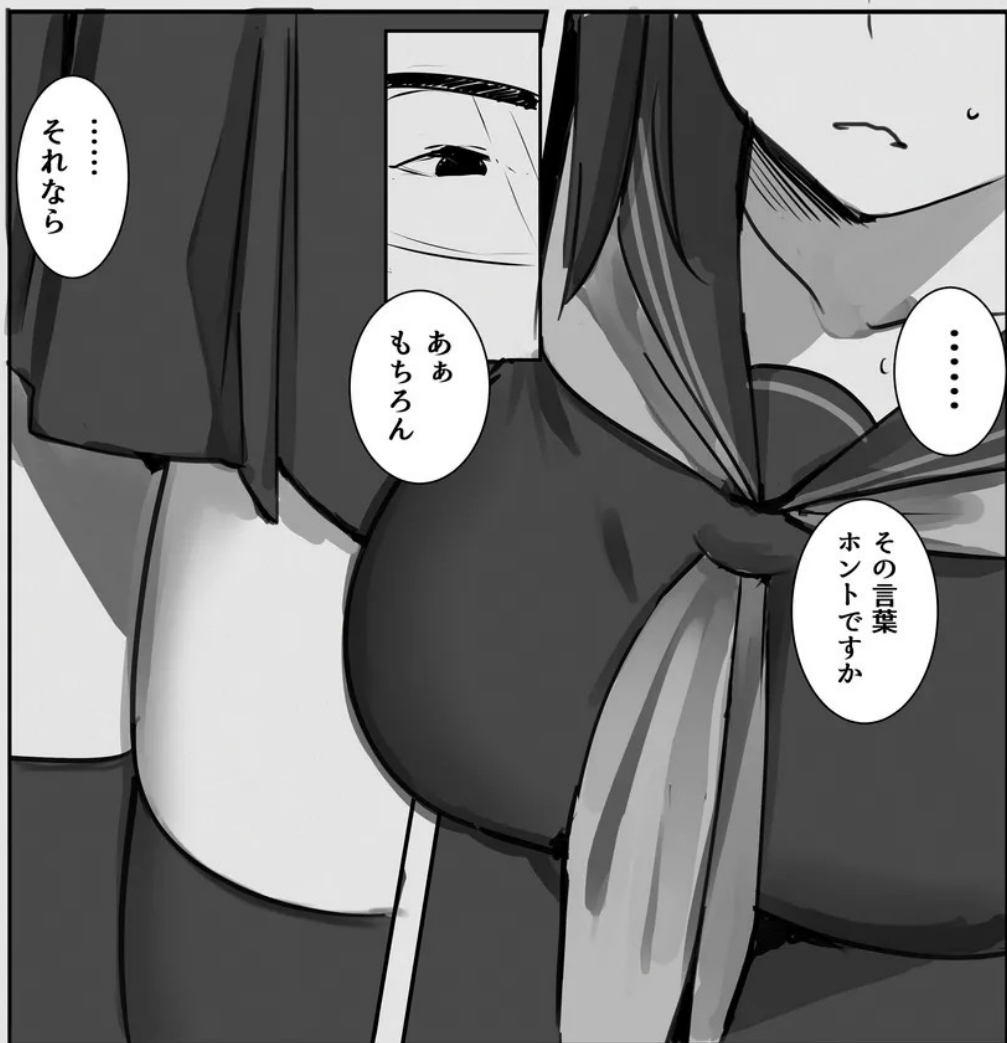


君の事も
秘密だ



私が…

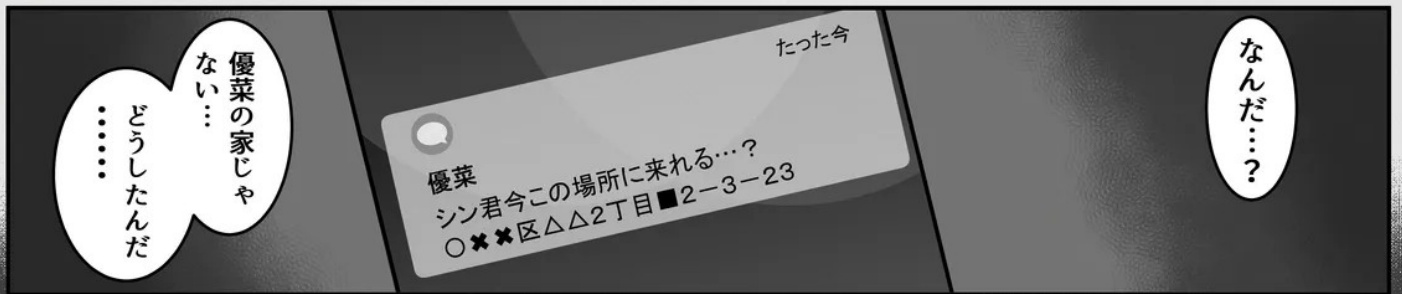
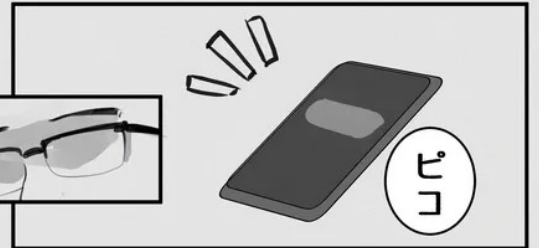
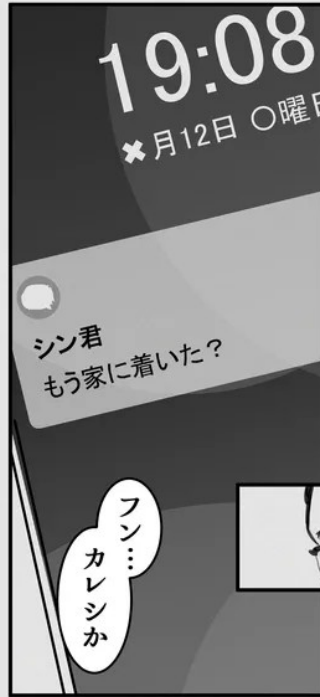
が…
頑張ります…



…
それなら

ああ
もちろん

…
その言葉
ホントですか





気持ちよく
なろうね

今日もこれを
つけて



また今日も
あの日と同じように…



優菜も期待
してるんだろ？

この男に自分の
身体を…



こっちへおいで
優菜…

……

ほ…本当に
パパの事

約束して
くれるんです
よね!?

なんだこの
オッパイは…?
本当に学生か?

するって
するする

おとなしく
しなさい

やっ…!

スケベな身体
しやがって

今日から
この身体は
俺のものだ

やめたら
それで終わり

優菜は俺に
従うしかない
いいね?



いい子だ…

大丈夫だ
怖いことなんて
しないから

そう
足開いて

…

そうだ、いいぞ
パパの負担が
軽くなっていくぞ

目隠ししてれば
恥ずかしく
ないだろ

優菜はまだ
彼氏とか
いないのか？

それ…
関係ない
ですよ…

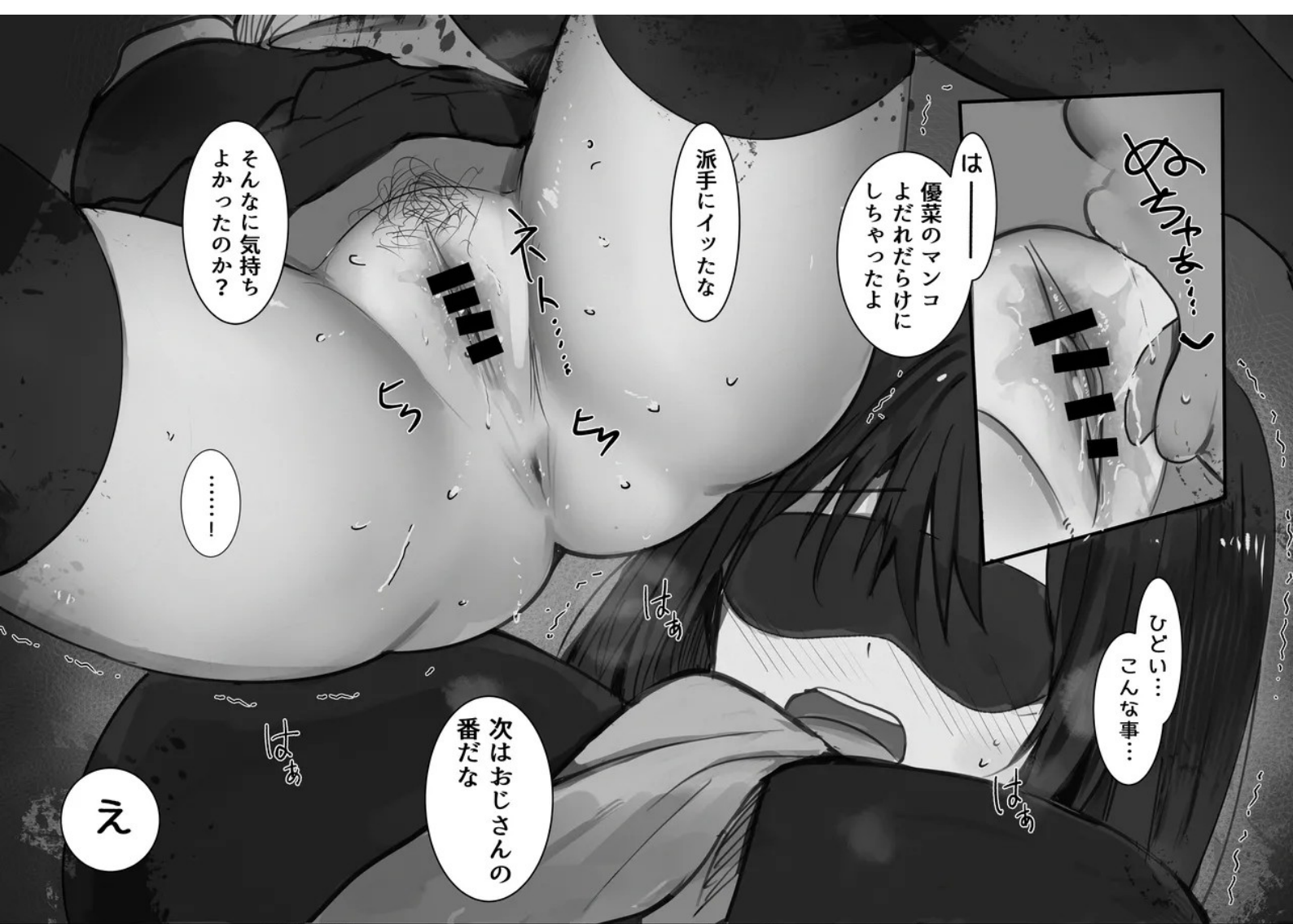
あるよ

あるある

だって
これから







ぬちやち...

は

優菜のマンコ
よだれだらけに
しちゃったよ

派手にイッたな

そんなに気持ち
よかったのか?

.....!

ひん...
こんな事...

次はおじさんの
番だな

え



舐めなさい

ほら...優菜
言う通りにしなさい

何のさ...

え

え...

いいから
ほら!

ウソ…!

イヤじゃ
ないだろ

おおう…

あったかい…

ほら
舐めたり
吸ったりしろ

苦し…!
生々…!

おっおっお…おお…!
これすぐ出るな…

ああ—



も...もう
やめてください...!!

下がまだだろ

イヤツ!!

この人に...

ほんとに...!!
無理...!!

ここまでできたんだ
ガマンできん
やらせろ

ほら...むっ...
ちよっと入った

犯される!!

パパのためだ

一気に行くぞ...!!





男の一部が
私の身体の奥に侵入
してきた...

ほら...
もっと奥まで

おっ!! おお...
入った...
入ったぞ!!



こんなエロマン
しやがって...
優菜っ!!!

おっおっ!!... おっ
おっ!!



ああ... (ここ)
子宮口か?

これからは
このマンコ使い
まくって
やるからな...

どうだ？ はー！
初めてのセックスと…
はー！

おじさんの
チンポの味は…
はー！



はー！！

はー！！



声も…

はー！
いやらしい声に
なってきたるじゃ
ないか
はー！

そんなこと…！

はー！
嫌がりながらも
どんどんチンポ啜え
こんでってるし
はー！



ほお...
キレイなおっぱい
してるな

やっ...!

もったいない
こんなきれいな
おっぱいは

触られたり
吸ったり揉んだり
されない

こんな事された
ことないだろ?

気持ちよく
なんか...!

大丈夫だんだん
気持ちよくなつて
くるさ



はあ

はあ

はあ
はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ
はあ
はあ

はあ

幸せの後に不幸が訪れるのなら…

幸せなんていらなかった

平塚さんのチンポ最高ですって…

言わないとパパが…

おらっ…!! 気持ちいいって言え!!

はぁ… 気持ちいいです…

もっと大きい声で言いなさい

ふっ…くっ… 気持ち…いい…です

もっとだ! もっと大きく!!

平塚さんのチンポ…!! 気持ちいいですっ!!

よしよし! そうだ!

優菜の大好きなチンポから濃いミルク出してやるからなっ!

いゃあああ! あああ!

私はこの男の言いなりになった…



この手の言葉は？

ぐっ……!

気持ち……
いいです……

嫌なのに
どうして……

平塚さんのチンポ……!
イイっ! 大好きっ……!

そうだろ!
優菜のマンコを

俺のチンポでしか
イケなくしてやる!!

私は……こんなに……

こんな姿
シン君が見たら……

イクモイクモ!

優菜もイけ!

イクッ...!
イッチャウ...!

い...イキます...!
平塚さんの...
チンポで...!





優菜キスしろ

何も考えたくない...
もうどうでも...



気持ちよすぎて...

出るぞ...
はらませてやるっ!

優菜のスケベ
マンコにいっぱい
出してえっ! ♡



あっ! いいよ
きてえっ!

平塚さんの
濃いミルク
頂戴っ!!



優菜ついたぞ

中に入ってきて

ゆ…優菜…?

お、お邪魔します…



この家…
優菜の家
じゃないし

ここに優菜が?

はあ

はあ

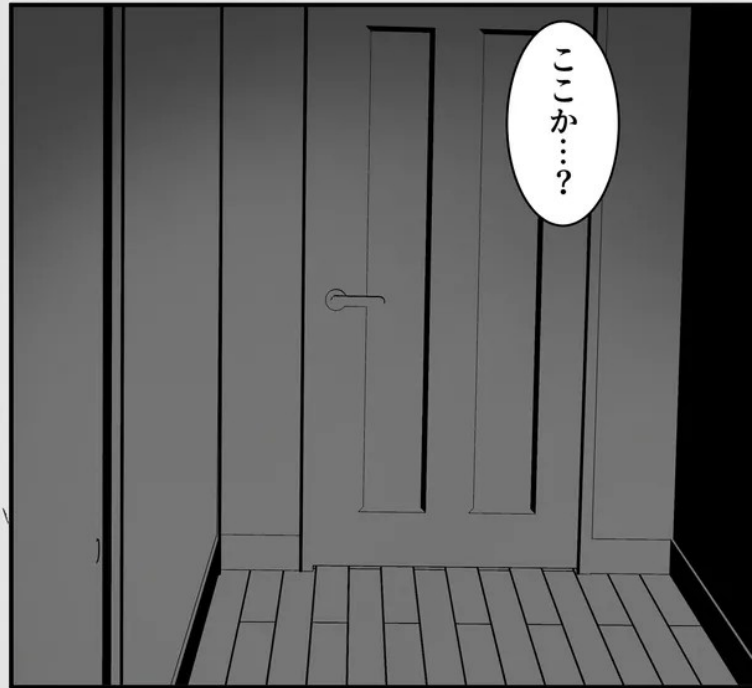
はあ

電気もついて
ないし…

優菜…?
きたぞ…

いるのか…?

ここか…?





え…？

おお…

君が彼氏の
シン君か…

なんだ…？暗くて
よくわからない…



え…？

ああ…私はね彼女に
とって大事な
人間でね…



ほら



あ…あの…
優菜は…

後に…

絶望が襲ってきた…

優菜は苦しそうにも恍惚とした表情で目の前の男に抱かれていて…

シン…くん!?



はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はッ

はッ

はぁ

はッ

はぁ

はッ

はッ

はッ

はぁ

はぁ

はッ

はぁ

はぁ

はッ

なんで!?
シン君!?

ムジク...

カレシが優菜の
ために来て
くれたよ

違うのっ...!

カレの知らない君を
見せてあげるんだ

そんな...!
ダメ!

シンくん
見なごせっ!

違うのっ...!

何も違わんよ

優菜は私の
チンポが
大好きなんだよ

優菜...

ごめんシン君...

シン君にこんな
姿見られたく
無かった...



優菜こつちを
向け

シ…ン君
ゴメ…あっ！♡

カレシに見られて
感じてるとは

やはり優菜は
変態だな！

首輪に繋がれた

俺の見たことのない
優菜…

はあ
違くはないだろ
乳首もこんなに
膨れてるぞ

カレシにも
しゃぶらせて
ないんだろ
このデカパイ



オラッ彼氏の前で
イかせてやる!

やっ、待ってッ
シンくん、ごめんっ
ごめんなきいっ!

優菜は俺に
謝りながら…

平塚さんのザーメンっ
中に出してえええっ!

身体を震わせ
絶頂した…

やだダメッ
だめなのにッ

出すぎ優菜っ…!

私もう、欲しくて…
欲しくてッ

ごめん、ごめんね



カッ

違う…その姿は
もう、俺の知っている
優菜の姿じゃなくて

ソク…!

悪いなあ君の
大切な彼女に
中だししちゃったよ

カレシの前なのか
いつもより感じて
たなあ

おじさんのチンポに溺れた
ただの雌でしかなかった。



ソク…!

まさかカレシに
隠してるとは
悪い子だな
優菜は…

優菜と私はね…
こういう事を
ずっと前から
してるんだよ

ソク…!





目の前で男と絡む優菜から



俺は…



見たくなんかないのに



カレシの前でケツの穴も頂いちゃうぞ

おめおめ……



目を離せなかった



あゝ

熱の来る

うまー!!

はッ

ガク

はッ

はッ

はッ

はッ

はッ

はッ

はッ

目の前で優菜が
他の男とヤッてるのに...

俺は...



優菜の中で何かが
壊れたのと同じように

はあ

はあ

はあ

はあ

ニョキ
ニョキ
ニョキ

壊れてしまったのかも
しれない…



俺の中の「何か」も

身売り～父の借金、私が身体で返します～

発行日：2024年 8月 3日
サークル名：みつつまん

X(Twitter)



Pixiv



FANBOX



※18歳未満の方の閲覧を固く禁じます。
※内容はすべてフィクションであり、
実在の人物や団体とは一切関係ありません。

無断転載、複製複写、Web上にアップロードする行為を固く禁じます。
無断違法公開を発見次第、検索サイトへのDMCA侵害申請および
サーバー会社への通報を行います。

